そ　「そ行」の天草方言　「天草方言集　鶴田　功著」

…ぞ　…ぞい　…ぞう　…だぞ　…だよ　…ですよ
そい　そり【其れ】　②其の人《京・有明・牛深》〈れ→い転音〉
そいから　そりから　それから《京・有明・牛深》
そいけん　そいせん　そっけん　そりけん　そるけん　それだから
そいだけ　そっだけ　それだけ《京》
そいつ〈其の奴〉　そ奴　〔その人〕の俗語《京》
そいっちゃ　そっちゃ　それだから　それでも尚
そいで《京》　**そいでか　そっでか**　それだから
そいば　そりば　それを　《苓北・有明・牛深》
そいばって　…さな　そいばってん　然しながら　だけどだね
そいふう　そういうふう　そのような状態　そんな感じ
ぞう　古語【族(ぞう)】　族(ぞく)の音便　一族 **a family**　「天草族(ぞう)」
…ぞう　…だぞ　…だよ　「見たっぞう」《大多尾》
そうかいた　そうかなー　そうな　そうや　そうですか
そうかす　水に晒(さら)して灰汁(あく)を抜く
そうがましか　そうどがましか　そどがましか　騒々しい
ぞうきんたんのごたる　ぞうたんのごたる　ご冗談でしょう
ぞうくっとる　小馬鹿にしている　巫山戯(ふざけ)ている
ぞうくる　古語【戯(じゃう)ける】　戯れる **joke**　ふざける　おどける
ぞうくんな　冗談を言うな　ふざけるな
そうけ　古語【笹(そうけ)　笊(そうけ)筍】　竹編みの笊(ざる) **busket**　竹籠《日ポ・京》
ぞうさ【造作】　手を掛ける　面倒なこと《京》
ぞうさなか　造作ない　訳無い　簡単だ　容易だ
そうしたりゃ　そしたりゃ　そうしたら
そうじて　古語【総じて】　概して　大概　大体において
そうじゃか　そうじゃなか　そがんじゃか　そうではない
そうじゃけん　そうじゃっで　そがんじゃけん　そうだから
そうじゃっか　そがんじゃっか　そうだろう　そうでしょう
そうじゃった　そがんじゃった　そうであった《京》
そうじゃったっちゃ　そがんじゃったっちゃ　そうであっても
そうじゃのうして　そうじゃのうて　そうではなくて
そうじゃば　そうだけど《下浦　新和》
そうじゃるばって　そがんじゃばって　そうですけれども

そうじゃろもん　そがんじゃろもん　そうでしょう
ぞうず【雑水】　牛馬に与える水や汁もの《京》
そうすかん《京》　**そうすかんくろうた**　皆から嫌われた
そうすっと《京》　**そうするぎっと　…ぎりゃ**　そうすると
そうせん　そうせんもん　釣り合わない《有明》
そうそう　古語【多々(さはさは)】　頻繁ではない　再三
そうぞう　面会　《竜ヶ岳》
ソーダ　《オランダ語》 **soda**　炭酸ナトリューム
そうたー　そうたい　そうたなー　その通りですよ
ぞうたん【冗談(じょうだん)】**joke**　でたらめを言う
そうちーて　そうどじーて【騒動して】　騒いで
そうちゃー　そうてー【総体】　全体的に　大体において　大凡(おおよそ)　大方
そうちゃん　少しも　《宮地岳》
そうつく　そうどずく【騒動する】　集まって騒ぐ　巫山戯る
そうてーにゃ　そうてゃーにゃ【総体】　大体　元来は　大方
そうでがす　そうでやす　そうでござす　そうでございます
そうど　そど【騒動】**agitation**　取り込み　騒ぎ　もめ事　《京》
そうどがましか　騒々しい　騒いでうるさい
そうな　そうに　そうにゃ《京》　**そにゃ**　古語【多(さは)に】　沢山に　可成り
…ぞうな　…ですよ　…だよ　「良かっぞうな」《大多尾》
そうなか　そうは(わ)なか　思った程ではない　滅多にない
そうなめーにあわすっぞ　ひどい目に遭わせるぞ
…そうなもん　…しそうだ　…らしい　「来そうなもん」
そうに　そうにゃ《京》　古語【多(さは)に】　沢山に　可成り　とても　大層
ぞうに【雑煮】　雑炊　野菜を入れて炊き込んだ粥
…そうにある　…しそうだ　…らしい　「雨そうにある」
そうによか　そうにゃよか　そにゃよか　可成り良い　随分立派だ
…そうば　…なさるならば　「来らっそうば」
そうは(わ)いうたっちゃ　そのように言っても
そうは(わ)いかん　そのように簡単ではない《京》
そうばいた　そうばえ　そうばな　そうばね　そうですよ
そうばって　そうばってか　そうばってん　けれども　だけど
ぞうもつ【臓物】　内蔵　腸
そうよ【総容】　**そうよとめ**　全部 **all**　家族全員　ご一同
ぞうよ【雑用】　経費　費用　雑費《日ポ・京》
そうら　そら　束子(たわし)　磨き洗う道具

そうらえる　そうらゆる　古語【浚(さら)う】　浚える　全部取り去る
そうらそうら　そらそら　そろそろ　ゆっくりと　のんびりと
そうらっと　そろっと《京》　そっと　静かに　優しく
そうりょうむすこ　古語【総領】　跡取り　嫡子　長男
そうれん【葬連　葬列】　会葬者の列《京》
そうれんまい　葬列が左回りする儀式　②逆回転
ぞうわた【臓腸】　内蔵　腸(はらわた)　腸(ちょう)
そえじょ【副え女】　花嫁の付き添い人　婚礼儀式
そえとく　付け加える　おまけする
そがいに　そんなに　そのように《京》
そがしこ　そぎゃしこ　そげしこ　そしこ　そりしこ　それだけ
そがしこだ　そぎゃしこだ　そげしこだ　そしこだ　それ位は
そがしこどん　そぎゃしこどん　そしこどん　たったそれ位
そがしこんこて　そぎゃしこんこて　そんなに沢山
そがにゃ　そぎゃにゃ　そげにゃ　そんなには
そがはざ　その期間　その時間　その間
そがん　そぎゃん《京》　そげん　その通り　②そんなに
そがんいうたっちゃ　そぎゃんいうたっちゃ　そう言っても
そがんかいた　そぎゃんかいた　そげんかいた　そうですか
そがんかなん　そぎゃんかなん　そげんかん　そうですか
そがんかもしれん　そぎゃんかもしれん　そうかも知れない
そがんこたなか　そぎゃんこたなか　そんなことはない
そがんこつ　そぎゃんこつ　そげんこつ　そんなこと
そがんこっば　そぎゃんこっば　そげんこっば　そんなことを
そがんしたっちゃ　そぎゃんしたっちゃ　そうしても
そがんじゃか　そがんじゃなか　そうではない
そがんじゃっで　そぎゃんじゃっで　そうだから
そがんじゃっと　そぎゃんじゃっと　その通りだよ
そがんじゃなか　そがんじゃなかもね　そうじゃないでしょう
そがんじゃば　そぎゃんじゃば　そげんじゃば　そうだけど
そがんじゃもね　そぎゃんじゃもね　その通りだよ
そがんじゃんなん　そぎゃんじゃんなん　そうですよね
そがんすんな　そぎゃんすんな　そげん　そんなにするな
そがんそがん　そぎゃんそぎゃん　そうそう　その通り
そがんた　そぎゃんた　そげんた　そんなものは
そがんたー　その通りです

そがんたい　そぎゃんたい　そげんたい　そうですよ
そがんだんじゃか　そぎゃんだんじゃなか　それどころではない
そがんて　そぎゃんて　そげんて　そんなものに
そがんでござすと　そぎゃんでござすと　その通りです
そがんと　そぎゃんと　そげんと　そんなもの
そがんとば　そぎゃんとば　そげんとば　そんなものを
そがんとなろ　そぎゃんとなろ　そげんと　そんなものなら
そがんなるばって　そげんなるばって　そうなんだけど
そがんなろ　そがんなろ　そげんなろ　それならば
そがんにゃ　そぎゃんにゃ　そげにゃ　そんなには　それ程は
そがんばいた　そぎゃんばいた　そうですよ
そがんはざなか　そぎゃんはざなか　そんなはずはない
そがんばなん　そぎゃんばなん　そげん　その通りですよ
そがんも　そぎゃんも　そげんも　そんなにも
そがんやけん　そがんやっき　そぎゃんじゃけん　その通りだから
ぞきん　ぞっきん【雑巾（ぞうきん）】**dustcloth**　（長音短呼）
そくぃー　修理 **repair**　「モグラ穴そくぃー」
そくう　繕（つくろ）う　修理する　②整える《京》
そぐわん　不相応　似つかわしくない《京》
そけ　そけー　その場に　そこに　「そけ置け」
そけー　そこさね　そこさん【底に】
そげーな　そげな　そげん　そんげん　そんな　そんなには
そこいら　そこいらへん　そこらへん　その辺《京》
そこかしこ　そっここ　方々　あちらこちら
そこさにゃ　そこさね　そこさん《京》　そこへ　そちらへ
そこそこ　古語【其処其処】　中途半端　いい加減《京》
ぞごぞごする　悪寒がする　寒気がする
そこつ　古語【粗忽】**careless**　軽率　②無礼　③過失
そこなう　古語【損（そこな）ふ　害（そこな）ふ】**injure**　壊す　し損じる《日ポ》
そこなし　古語【底無】　際限なし　②大酒飲み
そこひ〈底翳〉　白内障　緑内障（眼病）
そこびえ【底冷え】　体の心まで冷える
そこらへんに　そこんにき　そこの近くに　そこら付近に
そざきゃーて　そざして　そじらきゃーて　そぜーて　損じて　傷めて
そざさんごつ　そじらせんごて　傷めないように
そざす　古語【損（そ）ず】　損なう　傷む《日ポ》　悪くする

そしこ　そりしこ　それしこ　それだけ
そじたくる　そぜたくる　損なってしまう　傷めてしまう
そじらんごつ　そぜんごて　傷まないように
そしり　古語【謗(そし)り　誹り】　誹謗　非難　悪く言う《京》
そしる　古語【謗(そし)る】　非難する　悪く言う　くさす　けなす
そじる　そずる　そぜる　古語【損(そ)ず】　消耗する　傷む　悪くなる
そせーで【濯いで】　汚れを洗い落して　注いで　流し込んで
そそぐ　古語【濯(そそ)ぐ】**wash**　濯(すす)ぐ　洗い流す
そそくさ　慌ただしい　落ち着かない　《京》
そそくる　古語【そそくる】　弄ぶ　②修繕　修理する《京》
そそくりノわるか　そそくんノわるか　通りが悪い
そそっかしか　古語【そそかし】　挙動が慌ただしい《日ポ》
そそめーて　小声で話して　耳打ちして
そそめく　古語【ささめく】　囁く　小声で話す《日ポ》
そぞろあるき【漫ろ歩き】　気ままにぶらりと歩く
そつ　近世語【そつ】　手抜かり　手落ち　無駄《京》
そっ　そっだ　そっどま　そやっだ　それ等　〔彼ら〕の卑語
そっが　そりが　そるが　それが　そ奴が
そっから《京》**そりから　そるかる**　それから
そっぎり【削ぎ切り】　青竹を削いで切る　尖った切り株
そっくり　残らず　根刮ぎ　ごっそり　全部 **all**《京》　②瓜二つ
ぞっくりおわる　密集して生える　群生する
そっけなか【素気なし】冷淡だ　薄情　つれない　にべもない
そっここ【其処此処】　彼方此方　あちらこちら
そっこけー　其処かしこに
そっしぇせん　そっで　そりせん　それで　それだから
そっじゃー　それじゃー　それでは
そっじゃ あろば　それではまた　左様ならば（別れのあいさつ）
そっじゃきかん　それでは及ばない　それより多い筈だ
そっじゃけん　そっじゃっで　そっだけん　そっだるけん　そうだから
そっじゃったっちゃ　そっちゃ　そうであっても
そっじゃば　そっじゃばって　そっじゃばってん　そうだけど
そったーいわん　そっでにゃきかん　そっとはいわん　それ以上
そっち　其方　そちら
そっちー　そっちさね　そっちさん　そっちゃん　そちらへ
そっちびんた　反対側　裏側

そっちゃ　そっでちゃ　それでも　それにしても
そっちゃまー　そっちゃねー　それでもね
そっちゃん　そっつぁん　そちらへ
そっちんた　そちらの方は　そちらの物は
そっちんとバやれ　そちら側の物を遣れ
そっで　そっでか　そっでん　そっでんか　それだから　だからとは言え
そっでさい　そっでじゃん　そっでたー　だからだよ
そっでたな　そっでたね　そっでわい　だからだよ
そっでにゃ　それでにゃ　それでは
そっどこいか　それどころか　《牛深・有明》
そっどみ　そっどん　彼ら　その奴ら
そつノなか　手抜かりがない　失敗がない
そっば　そりば　そるば　それを
ソップ　《オランダ語》　**sope**　出汁(だし)　**soup**　**stock**《京》
そてーずる　そとさねずる　そとさんずる　外出する
そでーする　古語【袖にす】　粗末にする　②いい加減にする
そでごい　古語【袖乞ひ】　物貰い　②乞食
そでのした　そでンした【袖の下】**bribe**　賄賂　賂(まいない)
そど【騒動】**agitation**　取り込み　騒ぎ　もめ事　《牛深》
そとあるき　外出　夜間外出　②散歩　**promenade**
そとがま　外股　爪先を外に向けて歩く
そとづら【外面】**outside**　外側　②体面　面子　**honour**
そとば【卒塔婆】《梵語》**stupa**　経文を書いた塔形の板
そとまったとこる　そとまったところ　外側の部分
そどやがや【騒動】　大騒ぎになりました　忙しかったよ《牛深》
そなえとる　古語【備へ】　用意している　準備している
そねくりかやる　反り曲がる　②威張る
そねばる　反り返える　②威張る　③駄々をこねる
そねむ　古語【嫉(そね)む】　妬(ねた)む　嫉妬　**jealousy**　恨む　憎む
そのまんま　そんまま　そのまま　《京》
そのよな　《京》　**そのよなこっば**　そのような(ひどい)事を
そばだつる　古語【そばだつ】　聞き耳を立てる
そびーて　古語【そ引く　しょびく】　引き摺って
そびきだす　引き摺り出す
そびきつらかす　無闇に引き摺る
そびく　そろびく　ぞろびく　古語【そ引く　しょびく　しょっぴく】

　　引き摺る　無理に引っ張る《日ポ》
そびっくーだ　そびっこーだ　引き摺り込んだ
そびっこむ　引き摺り込む
そびゃー　そべー【側に】　近くに
そびゃーおれ　そべーおれ　側に居れ　近くに居なさい
そびゆる　古語【聳ゆ】　聳える　高く立つ
そびるる　流れが滞る　②言いよどむ
そぶり　古語【素振り】**air**　挙動　動作 **action**　様子 **state**
そべー【側に】　近くに
そまつーなる　粗末になる　無駄になる **useless**
そむ　古語【染む】**dye**　染まる　色づく　馴染む　感化する
そむく　古語【背く】　従わない　反対する
そむる　古語【染む】　染める　着色する　馴染ませる
そめかん　そめきもせん　苦しさを我慢して声を出さない
そめく　古語【騒(そめ)ぐ】**be noisy**　騒ぐ　《京》
そめなゑぇーた　そめなゑゃーた　染め直した
そもさん　古語【作麼生】　さあどうだ　如何に（仏教語）
そもそも　古語【抑(そもそ)も】　さて　元々　元来 **originally**
そもっそも　全く　全然　「そもっそも無しーなっとる」
そやつ　古語【其(そやつ・すやつ)　奴】　その人（卑語）
そやつどみ　そやっどみ　古語【其奴共】　そいつ等（卑語）
そゆる　古語【添ゆ】　添える　付け加える　手助けする
そら　《京》　**そらー　そりゃ　そりゃー**　それは　そ奴は
そら　屋根 **roof**　二階　「小屋ンそら」小屋の二階
そらーっと　静かに　そっと　ゆっくり　徐々に
そらぎゅう　円錐形の盃　「そら」とやったら「ぎゅっ」と飲む
そらごつ　古語【空言　空虚(そらごと)】**lie**　虚言　嘘　偽り言
そらそら　そろそろ　ゆっくり　のんびり
そらで　諳(そら)んじて　暗記して《京》　「そらで言いきる」
そらね【空寝】　眠ったふり　狸寝入り
そらね【空音】　音真似　鳴き真似
そらみみ　古語【空耳】**mishearing**　幻聴
そらよい　古語【空酔ひ】　酔ったふりをする
そらんずる　古語【諳(そら)んず】　暗記している　暗唱する
そり　そる　それ　その物　その者
そりがさい　そりがさな　そりがさね　それがだね

そりがにゃー　そりがねー　それがね
そりから　そりかり　そりかる　それから
そりからこっち　そるからこっち　それ以来　それ以後
そりぎっ　そりぎり　そるぎっ　そるぎり　それ限り
そりくりかやる　反れて曲がる
そりけん　そるけん　そるせん　だから　それだから
そりごと　そるごつ　そんながら【それ毎】　それと共に
そりしこ　それしこ　それだけ
そりで　それーで　それで　その物で
そりノあわん　気心が合わない　性格が合わない
そりば　そるば　それを　その物を　その者を
そりばって　そりばっ　そりばってん　そるばって　そうだけど
そりもこりも　それんこれん　それもこれも
そりもそうばって　そりもそうばってん　それもそうだけど
そりゃ　そりゃー　それは　しかし　だって
そりゃーあって　それはつまり
そりゃーうそ　それは嘘　それは違う
そりゃーどうい　そりゃーどうし　それはどうして
そりゃーよか　そりゃよか　それは良い
そりよか　そりよっか　そるよか　それよりも
そる【其れ】　それ《牛深・有明》
そるば　其れを《牛深・有明》
そるばって　そるばってん　そうだけど《有明》
そるる　古語【逸(そ)る】　逸(そ)れる　外れる　違う方向へ行く
そるる　古語【反(そ)る】　反れる　板などが弓状になる
それー　それに　②その人に
それーで　それで　その物で
それがし　古語【某】　誰それ　何がし（人や物を特定しない）　②私
それみたこっか　それ見たことか　ザマミロ
ぞろ《京》　**ぞろぞろ**　麺類　素麺　（幼児語）
そろうそろ　そろそろ《京》　ゆっくり　次第に　やがて **slowly**
そろうて《京》　**そろて**　揃って　お揃いで
ぞろぞろ　続々と　次々に　②物を引き摺る
そろうた《京》　**そろた**　揃った　準備が出来た
そろっと　そっと　静かに　ゆっくりと《日ポ・京》
ぞろっと　総勢で　全部で　みんなで

そろびく　ぞろびく　引き擦る　《日ポ》
ぞろり　総嘗(な)め　総て **all**　全部　②繋がって
そわそわする　落ち着かない　気が騒ぐ
そん　そん…〈其の〉　其処の
そんあげ〈其の上〉　その後　事後　爾来
そんいき　その勢いで　②その内に
そんうち　その内に　間もなく　近日中に
そんくぃ　そんぐぃ　尖った杙　尖った切り株
そんくちー　その際に　その節に
そんくりゃー　そんくれー　そんくんにゃ　それ位　それ程
そんくりゃーだ　そんくりゃどま　そんくれーどん　それ位は
そんこ　そんじょ〈其の子〉　その娘
そんこらー　そんじぶんな　その頃は　その時期は
そんこれー　そんじぶんに　その頃に　その時期に
ぞんざい　近世語【ぞんざい】　無礼　粗末　いい加減　**rough**
そんざま〈其の様〉　無様　その格好ったら
そんしー　そんしと　そんひと　そんふと　その衆　その人
そんしこー　その姿形　その身なり　「そんしこー見ろ」
そんじぶん　その頃　その時期　当時
そんじょ〈其の嬢〉　その女　その娘
そんじょそこら　中世語【其の定】その周辺 **around**《京》
そんじょそこらにゃなか　何処にでもある物ではない
ぞんぞろびく　引きずる
ぞんぞんする　悪寒がする《京》
そんつもり〈其の積もり〉　その予定
そんつれ　その連れ　その関係者　②その類い
そんつれんとん　そんてんとん　そんつれンとンなかろかい　その類の物が
そんて　そんてンとばくれい　その手法　②その型式　③その種類
そんときそんとき　その時々の状況によって
そんときゃそんとき　その時の状況次第では
そんながら【それ毎】　それと共に
そんなら《京》　そんなろ　そんなろば　それならば
そんなり　そんなりふり　その服装　②その様態 **mode**《京》
そんなりー　そのまま　その状態で　継続して　《京》
そんなれ　そんなん　そんまれ　そんわり　そんわれ【その汝】　その人
ぞんぶん【存分】　充分　満足　思い通り　思うまま

そんまま　そのまま　その状態で
そんみゃーに　**そんめーに**　その間に　何かをしている間に
そんもん〈其の者〉　その人《高浜　大江》
そんもんそんもん　各人各様
そんわったち　**そんわれたち**　その衆　その人たち
そんわり　**そんわれ**【其の汝】　その人